

そうべつ議会だよ 旗の波運動



旗の波運動

■ 第3回定例会のあらまし	2
■ 一般質問	4
■ 決算審査特別委員会	6
■ 視察・研修報告	12
■ 委員会レポート	14
■ 薫風	16

発行 / 壮警町議会

編集 / 議会広報特別委員会
(TEL 66-2121・FAX 66-7001)

No. 63

■ 2016年11月 ■

定例会のあらまし

議案審議

台風被害対策に

総額3907万3千円を追加補正!

平成28年第3回定例会は、9月8日から15日までの8日間の会期で開催されました。2名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。教育委員会教育長の任命のほか、議案13件、報告2件、意見案1件を審議し、それぞれ可決しました。

第3回定例会

教育委員会教育長の任命

法改正後の新体制にするた



第3回定例会の様子

め、現教育長である田鍋敏也氏を引き続き選任することに同意しました。

教育委員会委員の任命

現委員である成澤敏勇氏を引き続き選任することに同意しました。

専決処分の承認（一般会計補正予算（第4号、第5号）

3737万3千円追加

8月から9月にかけて発生した台風による被害対応のための専決処分を承認しました。

平成28年度壮瞥町一般会計補正予算（第6号）

7313万3千円追加

定住促進・まちづくり推進事業

282万1千円追加

質疑

新たに、地域おこし協力隊として募集する嘱託職員の月額賃金は。また、昨年採用された嘱託職員（同協力隊）の月額賃金は。

答弁

現在、地域おこし協力隊として採用している嘱託職員の月額賃金は18万1800円で、今回募集する職員も同額の賃金を支給する考えである。

質疑

住宅料の一部を町が負担しているが、空き家の公営住宅を活用することで経費の削減になるのではないか。

答弁

住宅借上料の一定額を町が負担し、不足分を本人が払う仕組みで、町負担分については、人件費同様国から措置される。

質疑

今回補正を組んで地域おこし協力隊を採用する必要性と、その業務内容は。

答弁

現在ホームページ、SNSといった情報発信ツールが飛躍的に整備されてきており、今後の問題は、いかに情報を鮮度良く発信していくかである。次の協力隊には、現職員（協力隊）と協力して、広い

平成28年 第3回

意味での情報発信をお願いしたいと考えており、新しい目線・感性・アイディア・手法で本町の魅力発信の一翼を担って頂きたいという思いで1名募集する。

質疑

空き家改修・整理補助金について、当初予算で組まれた100万円はどのように執行されたのか。

また、今回100万円を補正する趣旨は。

答弁

平成28年度に入ってからの実績は3件で、それぞれの助成額は、2件が満額の30万円、もう1件が28万9千円、合計88万9千円の支出が確定している。まだ数件問い合わせがあり、それらも見越して今回補正したもの。

本町の空き家を活用する、あるいは老朽空き家の増加を防ぐといった意味では、条件の範囲内で行政としても支援していくという考えで追加補正するものである。

胆振線代替バス運行維持補助事業

80万円追加

質疑

国道453号線形改良に係るバス待合所撤去工事の場所はどこか。

答弁

阿波国の国道の線形改良に係る工事である。その背景は、有珠外環状線の整備が進んでおり、そこで国道の交差点で線形を改良するものである。工事期間は平成30・31年の2力年を想定されており、工事終了後は再設置をする。バス待合所については地域の自治会にも説明をして了解を得ている。

保健センター管理経費

223万9千円追加

質疑

庁用器具費の内容について。

答弁

保健センター改修工事に伴い、事務室に10坪程度のカウンターを備品として整備するものである。また、地域団体活動室にロッカーを設置し書

類や貴重品等の管理をできるように予算を計上している。



久保内中学校学校祭

中学校運営事業

300万円追加

質疑

壮警中学校の地下重油タンクの具体的改修内容について伺いたい。

答弁

地下重油タンクについては、本年12月で40年を経過するので、法令上腐食の恐れが高い地下タンクに該当し、基本的にはその前に対策を講じなければならぬ。工法については、ライニングというタンクの内側に層を

厚く施すというもので、これが一般的で、一番安価な方法となっている。

平成28年度壮警町集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

補正後の予算総額

2億1960万円

経営戦略策定に係る委託料400万円を追加しました。

平成28年度壮警町一般会計補正予算(第7号)

950万円追加

補正後の予算総額

41億1096万9千円

ゆーあいの家の泉源ポンプが故障した事によるポンプ取替工事(780万円)と、台風被害にあつた林道駒別線の測量設計委託料(170万円)を追加しました。

意見書

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書について採択しました。

質問

Q & A

【壮警高校の将来像(2/5)】

Q 管理者として

どう考えるのか

A 存続を前提に

28年度中に判断したい



長内 伸一

議員

壮警高校は地域農業科へと学科転換し職業高校としてより実践的な教育を行っており生徒数も増加傾向にあります。しかし、少子化により小規模高校の前途はひととき厳しいものがあります。胆振管内唯一の農業高校として今後の存続の是非をしっかりと議論し安定的な高校教育と町立高校として町に貢献できるあり方が重要であり、管理者として今後の壮警高校のあり方をどのように考えるのか。

町長

平成24年3月新しい壮警高校づくりの基本方針をまとめ平成26年4月1日から地域農業科へ学科転換し農業の知識技術の習得、農産物の生産加工、販売までを学ぶ教育課程を編成し人材育成と地域振興に寄与する学校づくりに取り組んでいます。町政執

行方針で示したとおり方向性を28年度中に決定しなければなら

ないと考えており、庁内の総合政策推進プロジェクトでの分析も踏まえ存続を前提とし校舎の老朽化が喫緊の課題であり、久保内中学校の空き校舎への移転が最善であると認識し意見交換の上判断を行う考えです。

議員

全国的に農業の担い手不足が大きな課題になっており、関係市町と関係機関が連携し西胆振の広域的な新規就業対策も含めた担い手拠点施設として高校と併設して設置することが高校の安定的な存続や地域農業の将来を考えると検討すべきと考えるかどうか。

町長

就農は初期投資、経営管理能力や生産技術習得が求められ、

受け入れ段階から生産者や関係団体が連携した支援体制の構築が必要であり、高校は学校教育法に基づいた教育の場であり、施設の併設についての検討は現段階では行っていないが、胆振総合振興局が

主体となつて西胆振地域新規就業受入体制・雇用労働力確保検討会が設置され市町の枠を超えた広域的連携体制の構築についての検討を進めており、その動きを注視していく考えです。

議員

難しい部分もあるとは認識し



青年会寺子屋事業

ているが担い手拠点施設が併設されることにより、高校の生徒の農業に対する見方や現場との関係においていい影響が出たり、新規就農者にとって高校という学ぶ場を有効に活用したり高校教員という人材のサポートを受けることができ経営に対するマインドが高まる効果が期待できるのではないかと考えるかどうか。

副町長

職業高校のあり方の問題と、担い手不足とどうマッチングさせていくのか。壮警高校にどううまく当てはめるかご提案としてお聞きしこれからの検討の中に加えてどう整理していくかが重要と思う。

議員

胆振管内唯一の農業高校の役割と町立高校として地域に貢献できる高校のあり方として検討する価値はあると考える。今年度もあと半年だが結論を示す目処は。

町長

議員各位、教育委員や町民の皆さんの意見や理解を頂いたうえで28年度中に最終判断をしたい。

【公共施設の管理と活用化策(2/2)】

Q 維持管理についての考え方は

A 費用の全体像を把握し計画的に進める



森 太郎

対応する必要がある専門的な施設と指定管理者制度により管理運営している施設があり、それらを勘案しながら検討するが、現状では今の体制で続けていきたい。

ような活用化を、どのような形で調整していくのか。

町長

公共施設は各々の施設が異なった性格を有しており、専門性を持つ各所管課が活用促進や利便性、機能向上に取り組みとともに、庁内横断的なプロジェクトチームで公共施設の機能再編や効率性を考えながら、施設や跡地の活用を検討していく。

Q 施設機能を高めるための施設整備の考え方は

A 選択と集中による効果的な整備を図る

議員

入浴施設や宿泊機能を持った施設に、さらなる機能強化が図られた施設整備を進める考え方はないか。

町長

財政状況も勘案し、事業費の平準化と財源確保に努め、利活用に向けた投資を行い、選択と集中を進め、少ない経費で効果を創出できるように取り組んでいく。機能強化については、利用者等のニーズも把握して検討する必要がある。

議員

施設を維持、継続していくためには、施設運営の検証も必要であると思うので、管理運営評価を行う考えはないか。

税務財政課長

定期的な点検や検証、管理は必要であり、公共施設等総合管理計画にも基本的な考え方を示すことになっており、所管課とも連携して適切な管理、評価を行っていききたいと考えている。

Q 地域振興につなげていくための考え方は

A 施設の機能向上と活用を検討していく

議員

施設活用の際、組織の縦割りが障害となつて有効活用出来ないこともあると思うが、所管外部署の地域振興につながる



フィンランド派遣事業到着式

議員 老朽化が進んでいる町内公共施設の維持管理についての考え方は。
町長 住民生活や福祉の向上、魅力ある地域づくりを推進するためさまざまな公共施設を整備して

きたが、老朽化は年々進むので、人口減少も見据えた公共施設の再配置の観点と財政的見通しを考慮しながら、長期的視野に立った施設管理が必要であると認識しており、維持補修費用の全体像を把握し、維持管理を計画的に進める。

議員

所管課においては目玉事業への投資が優先され、成果が見えにくい維持修繕が後回しにされることで、ますます傷みが進む、後日に大々的な修繕工事が必要となり、財政負担が増大する。

公共施設への投資では修繕と更新をバランスよく進めていく必要があると思うので、施設の一元管理を目的とした課の設置は考えられないか。

副町長

施設の維持管理は、所管課が

平成27年度決算認定!!

平成28年第3回定例会で決算審査特別委員会に付託された「平成27年度壮警町各会計歳入歳出決算認定について」は、決算審査特別委員会において、9月12・13日の2日間書類を審査、15日に審議を行い認定することを決定し、15日の本会議で可決しました。

■平成27年度壮警町各会計決算状況

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高	残額の措置
一般会計	4,353,278,165円	4,215,630,821円	137,647,344円	翌年度へ繰越
国民健康保険特別会計	486,646,890円	460,354,622円	26,292,268円	翌年度へ繰越
後期高齢者医療特別会計	41,929,032円	41,236,732円	692,300円	翌年度へ繰越
介護保険特別会計	319,759,732円	305,184,246円	14,575,486円	翌年度へ繰越
簡易水道事業特別会計	156,533,908円	156,001,441円	532,467円	翌年度へ繰越
集落排水事業特別会計	192,979,185円	192,521,393円	457,792円	翌年度へ繰越

一般会計

歳入

質問

11万6326円の不納欠損額があるが、どのようにして処理を行ったのか、また歳入全体として時効も含む不納欠損額はどのようになっているのか。

答弁

この不納欠損額は、平成9年度に発生した保育料の滞納繰越分で、平成20年に滞納者から一部返済があったが、それからおおむね8年間支払われておらず、自治法の規定に基づき不納欠損処理をした。未収金については各担当課でも極力時効にならないように徴収の努力はしているが、居所不明など不納欠損処理を行わなくてはならない場合がある。

質問

22年度には、町民や固定資産税等合わせて268万円、23年度には423万円の不納欠損があったが、24年度からは徐々に減ってきており、徴収に力を入れていくことがうかがえるが、どのような努力

をしたのか。

また、減った要因の一つとして滞納者に対する差し押さえの実施が考えられるが、27年度の差し押さえの実績は。

答弁

納付相談や差し押さえを行うなど不納欠損にならないよう努力している。

差し押さえの実績は、次表の通り。

種 別	人 数	件 数	金 額
預 金	19名	20件	415,000円
給 与	3名	12件	380,000円
国 税 還 付 金	16名	17件	230,000円
年 金	3名	14件	470,000円
不 動 産	2名	2件	328,000円
生 命 保 険	1名	1件	42,000円
そ の 他	4名	4件	211,000円
合 計	48名	70件	2,076,000円

歳出

総務費

一般管理費

質問

一般管理事業で道からの職員派遣を受けて農業関係の水利権処理や、老朽化した農業基盤施設の調査、農地整備に係る手続き等の業務支援を受けているが、業務全体の進捗状況は。

答弁

職員派遣は25年度から27年度まで支援を受けてきたが、まだ積み残しがあるため、更に2年間派遣を受けることになっている。

進捗状況は水利権更新の未処理分で7件、農業基盤施設関係では今年度4カ所を予定している。

質問

「人事評価」導入のために行った、職員研修支援業務の内容と成果は。

答弁

支援業務の内容は制度の運用支援、目標設定研修、評価者研修で、制度運用支援ではこれまで運用している具体的評価内容等の見直し、

目標設定研修は全職員を対象に組織目標の意識とマネジメント技術についての研修、評価者研修では評価者に対する評価技術等の研修を行った。

諸費

質問

政策評価アドバイザーを外部から要請することとしていたが、その実施状況は。

答弁

行政（政策）評価委員会の中に入って外部からの視点で政策の評価や作業の助言をもらうことを想定し予算措置したが、地方創生事業（壮警町総合戦略）の実施に伴い、政策評価の導入が義務化され、これまでの制度との整合性を検討してきたため、27年度は実施していない。

28年度では「壮警町総合戦略」掲載の事業進捗についての評価作業を行うことになっており、その中でアドバイザーの参加を予定している。

質問

総合戦略推進会議の委員と行政評価委員に重複はあるのか。

答弁

推進会議委員として12名に参画してもらっているが、政策評価委員との重複は1名であり、各分野の団体から出ただけの関係から同じ人がならざるを得ない部分もあった。

今後外部アドバイザーに入ってもらい行政評価委員会で検証し、その評価を踏まえ総合戦略推進会議で検討し、PDCAサイクルにつなげ、5年間の対象期間行っていく。

文書広報費

質問

広報で配布されるまちのカレンダーに、町の主催行事や、山美湖での一部行事が掲載されていないことがあったが、改善すべきではないか。また、町のホームページと連動するべきと考えるがどうか。

答弁

町や公共的団体が主催する事業を掲載することになっているが、完全に網羅されなかった点は反省しており、今後は各課からの早めの情報収集に努め、より充実したカレンダーにしていきたい。また、基本的には町のホームページと連動してあり、合わせて情報の充実に努めていきたい。

財産管理費

質問

27年度実施された北の湖記念館の展示等基礎検討（業務委託）に基づいて、28年度では具体的にどのような内容で整備されるのか。

また、体験型施設整備を進める考えは。

答弁

北の湖記念館は、建設から24年経過しており、施設の維持は行ってきたが、展示物の内容が建設時



久保内小学校学校林倒木

からほとんど変わっておらず、独自性を持たせ観光資源として活用を図るべく、展示方法のリニューアル等の検討を委託したもので、今後の整備の方向性としては、展示スペースの拡大、見やすさ、外国人も含めた解説の手法、展示内容の精査や、施設の老朽化対策も必要との指摘を受けた。

今後は財政状況も勘案しながら、中長期的に展示物の改善を進めていきたいと考えており、英語表記等、出来るところから改善を進めていきたい。また、体験型設備についても検討していきたい。

財政管理費

質問

固定資産台帳作成について業務委託したが、これにより町有資産の全てを掌握できたのか。

今後発生する固定資産の整理はどのように進められるか。また、財源はどうなっているのか。

答弁

各課からの資料提出を基に台帳を作成したもので、現状では全てを掌握していると思っており、今後は毎年更新して整理されることになる。

また、財源については29年度までは特別交付税措置があるが、その後は町単費となる。



不動尊神輿

企画費

質問

平成27年度の空き家改修・整理補助金の実績と今年度の状況は。

また、「まちこん」事業の27年度の実績、その後の経過と今年度の状況は。

答弁

空き家改修・整理補助金の27年度実績は、1件12万4千円である。今年度は100万円の追加補正を行い計4件118万9千円の見込み。

「まちこん」事業は、27年度は29名参加で10組のカップルが成立した。28年度は25名参加で8組のカップル成立と聞いている。その後の経過については、個人情報でもあるので関わらないこととしている。

民生費

社会福祉総務費

質問

高齢者事業団の運営補助金は数年前から61万6千円支出されているが、平成27年度の事業収支実績を見ても、85万1283円の剰余金が繰り越しされているが、補助金の交付に問題はないか。

答弁

高齢者事業団は、町内の高齢者の就労機会の確保・促進の取り組みもしているところであることから、適正な補助額を検討し、事業団との協議も進めていきたいと考えている。

質問

高齢者事業団は行政とは別組織だが補助金を受けている団体であり、役員の兼職等は組織運営上問題ないか。

題ないか。

答弁

役員については、総会において選任されており、組織運営および業務執行が適正に行われるべきと考えている。

衛生費

温泉管理費

質問

平成18年度より温泉水引渡し等請求控訴和解成立に係る契約締結交渉委託料10万8千円が支出されているが、和解交渉はどこまで進んでいるのか。

答弁

相手方との和解交渉は一度終わっている。その後の経過で期間延期の申し出があり、双方の弁護士で協議していたが、その後相手方と接触がない状況であり、今後経過を踏まえて整理したいと考えている。

質問

平成27年度に「ゆーあいの家」のポンプ改修工事を行っているが、今年9月にも故障し、修繕を行っているが、故障の原因はなにか。

答弁

平成27年にはポンプに異物が噛み故障したため、内層管工事とポンプを入れ替えた。

今年9月の故障はガスが原因で、ポンプに圧力がかかり停止したものの。泉源はガスの発生しやすい泉質なので発生を抑えるためにポンプの深さや、汲み上げ水位を調整しながら対応したい。



りんごまつり（壮中吹奏楽部）

塵芥処理費**質問**

廃棄物適正処理等の審議会を設置して、5年ごとに目標ごみ排出量を見直しているが、平成27年度に見直された数値は。

答弁

今回設定した目標ごみ排出量は、平成26年度より10%下げ、1人当たり1日1530gと設定している。26年度実績は1人当たり1701gとなっており、今後減量に取り組んでいく。

農林水産業費**農業費****質問**

人・農地プランと農地中間管理機構の整合性は。

答弁

中間管理機構はまだ出来て日が浅く町の状況になじまない部分があるので人・農地プランで対応し動きを見ながらどちらにシフトするか対応したい。

商工費**観光費****質問**

外国人観光客の受け入れ体制の現状と課題その解決策は。

答弁

ホームページのリニューアルを

行い情報提供能力の向上を図っているが、冬の交通アクセスの問題があり、北海道観光振興機構の補助金を使い周遊バスの運行試験を行いたい。また、昭和新山地区のWiFi環境の整備も図りたい。

質問

昭和新山地区観光活性化基礎調査事業の報告書を今後どう活かすのか。また、昭和新山への冬期間のバスの運行についての実現と道路の環境整備を進めてほしい。

答弁

昭和新山地区商店街の土地や建物の権利調査が第一の目的。また、全国の事例を参考に活性化策を検討したい。自治会が母体になり昭和新山活性化検討委員会を発足し町もバックアップしながら検討したい。

バスの運行については洞爺湖町とも連携して取り組みたい。歩道整備や環境美化については今後も道に要望していく。

質問

情報館に設置されている次世代自動車充電施設の利用実績は。

答弁

利用実績は昨年4月から本年7

月までで、144件の利用があり、夏場が多いが月平均9台利用がある。

質問

情報館の展示リニューアルの時期と検討協議はいつ誰が行うのか。

答弁

展示コーナーは設置後8年経過しており整理が必要で今年4月から検討を重ね、それに基づき設計委託を今後遅くとも内装工事等を10月には発注したい。リニューアルは冬の客の少ないときに行いたい。

商工振興費**質問**

道の駅テイクアウトコーナーの今後の方向性は。

住宅リフォーム事業に対する住民ニーズと、次年度以降の実施可能性は。

商工業活性化事業は28年度が最終だが、事業評価と今後の検討は。

答弁

テイクアウトコーナー設置の事前検証としてグルメマルシェを2回実施したが、売り上げに加盟店も手応えを感じており、来客のア

ンケートも好評で、効果があると
感じている。今後は出店者を集め、
これまでの状況整理と次年度以降
の展開を具体的に決めたい。

リフォーム事業は26件168万
円の実績で好評を得ており、財源
を確保しながら今後も進めていき
たい。

商工業活性化事業は今年度最終
年で、おおむね予定の事業量を実
施し、事業者の経営安定に効果を
上げていると考えている。

今後は商工会からニーズ調査を
踏まえ、次年度以降の検討をした
い。

土木費

住宅建設費

質問

平成26・27年度で取り組んでき
た「子育て応援住宅建設」事業の
評価は。

また、入居制限（18歳の子ども
まで）後も安心して住み続けるこ
とができる政策が必要ではないか。

答弁

2カ年で14戸の住宅を建設し、
町外から10戸（20名）町内4戸
（15名）が入居しており、入居者

のアンケート調査では、満足76%、
普通10%、日当たりや風呂が狭い
など、やや不満があったが、入居
者から満足の評価を受けた。

18歳以降の住居については、公
的住宅もあり、全体的に検討する
ことが必要と考えている。



壮瞥高校収穫祭

教育費

質問

教育委員会の行政評価の中で、
巡回指導教員、加配措置教員の配
置、校内研修コーディネーターの
内容と目的は。

答弁

加配措置教員の配置は、学習指

導要領に基づいた指導方法、指導
体制の改善を図るために、学習習
熟度に分けて指導に当たり学力の
向上を図った。

巡回指導教員は24年から26年ま
での3カ年、壮瞥中学校の数学教
員を町内の小学校で算数の指導と
指導方法について指導に当たり学
力の向上に努めた。

校内研修コーディネーターの配
置は10年未満の若い教員4名の校
内研修や教材の工夫などの指導に
当たり効果があった。

中学校費

質問

久保内中学校跡地利用の検討項
目に合宿研修施設としての活用が
可能かどうか検討する考えは。

答弁

今後、議会・町民・学校関係者
等に意見を聞き、最終的には今年
度末をおおむねの目標としてその
方向性を決定していきたい。

高等学校費

質問

教育委員会で高等学校のありよ
うについてどのように考えている

答弁

現校舎は老朽しており、教育の
環境改善を考えることが必要を基
本に、移転については久保内地区
の地域力が高校移転でも活かせる
のではないか。また地域の活性化、
定住人口の増加などを考慮し、地
域の活力が上がるとの観点から考
えている。

国際交流費

質問

平成5年から英語指導助手招へ
い事業に取り組み20年が経過して
いるが、どのように評価している
か。

答弁

町内の小中高の各学校で英語指
導のサポートをはじめ、英語に親
しむなどでの効果があり、フィン
ランド国への中学生派遣時でのコ
ミュニケーションなどでも成果を
上げている。

また胆振管内の室蘭、登別市の
高校などでも管内の英語指導助手
が指導に参加し、広域的にも活動
し評価されている。

保健体育総務費

質問

社会体育推進事業で、スポーツ推進委員の道外研修の目的と内容は。

答弁

愛知県今治市で開催の日本サッカー協会主催の研修会に指導員1名、事務局職員2名が参加。

スポーツを核とした町づくりを主題とした研修内容で、この研修内容のサッカーによる町づくりを壮瞥町でできないかと考えて参加した。



壮瞥中学校学校祭

質問

研修結果をどのように具体的施策に反映させるのか。

答弁

研修内容について事務局内部で検討しており、スポーツによる地域振興への取り組み課題として、地域が運営主体となること、初期投資、運営経費面や負担等があり今後も検討したい。

歳入・歳出

全体について

質問

経常収支比率の推移について後どのように見越しているのか。

答弁

平成28年度は地方交付税が減額となっており、公債費等の歳出削減要素を勘案しても経常収支比率は悪くなる（上昇）と思われる。29年度以降も地方交付税の減額が予想されるため、経常収支比率についても、悪くなる可能性が高いと考えている。

質問

将来的な行財政の進め方について役場庁内で協議・検討し、計画な運営に努め、町民との理解共有

も進めるべきではないか。

答弁

将来予想される財政状況や、目指すべき行政運営等について、10年以上前に合併しない町を選択したときの行財政運営プランのようなものを改めて作成し、町民の皆さんにも説明して理解を求め、必要があると考えている。

特別会計

簡易水道事業特別会計

質問

使用料で前年度と今年度ほぼ同額の歳入未済額があるが、どのような方法で納入推進をしているのか。

答弁

納入推進については、年2回督促状の発送と計画収納に向けた誓約書を結んでいる。平成27年度は出向いての徴収を52回行っているが、居所不明が13名（50万円程度）あり徴収は難しい状況である。

今後は債権の取扱いの研修に職員を派遣し、徴収業務のマニュアルを作成し強化を図っていく考えである。

質問

平成27年度の久保内地区管路調査の結果、減圧弁1カ所、増圧ポンプ1カ所の改修が必要との指摘があり、28年度に改修を行っているとと思うが、その後の経過を伺いたい。

答弁

工期が10月末までで、現在も整備を行っている状況であり、整備が終われば漏水の件数も減るものと予測している。

質問

滝之町の水源調査結果について説明願いたい。

答弁

滝之町水源の有望な地点が2カ所あったが、調査ボーリングをすると現状の井戸等に悪影響が出かねないため、不測の事態に備え、第2配水地の増水が必要になる。だが、現状では増水すると久保内地域の水が足りなくなるため、解決策としては現在地すべりで使えなくなっている幸内地区の管の修復が必要となる。

今後は滝之町第1水源の水位を見ながら調査ボーリングの実施は考えていくが、その時には幸内地区の管の修復が前提となる。

視察報告

7月6日から7日まで中札内村・芽室町で視察を行いました。

中札内村農協視察

『枝豆王国の稼ぐ力』

松本 勉

中札内村農協は農家戸数約160戸と、道内の農協でも規模は小さい方だが、この農協の特徴を一言でいえば「稼ぐ力」がすごいところとである。

平成27年1月期、企業の純利益に相当する余剰金は7億円で、平成28年も8億円を超え、道内108の単位農協で第1位となっている。中札内農協の高収益を支える原動力が「枝豆」で、

その商品力強化と販路拡大を陣頭指揮しているのが山本勝博組合長（74歳）だ。

平成4年、3億円を掛けて枝豆の冷凍加工施設（マイナス19.6℃の液体窒素で瞬時に冷凍）を建設し、採れたて、茹でたての味と色合いを保つ枝豆の「商品化」には成功していたが、その高品質を販路拡大に生かすことができない状況が続いていた。そこで、山本組合長は自らトップセールスで売ることを決意、全国を回って中札内枝豆の質の高さを訴え続け、大手居酒屋チェーンとの取引や、全国36府県での学校給食採用にまでこぎつけた。また、フランス製の大型収穫機械の導入や、大型冷凍倉庫建設など17億円を投入して生産能力向上も図り、質量ともに全国一の「枝豆王国」を築き上げたのだ。

当初20畝だった村内の枝豆作付面積は、現在480畝、販売高は昨年23億円を超えた。

すでに、山本組合長は海外への販売戦略にも着手しており、現在10トンの輸出量を数年後には

10倍に引き上げたいと意気込んでおり、今年40億円（国補助50%）を投資して、加工工場の増築と大型冷凍倉庫の増設を図って、年間生産量を3500トンから6300トンに拡大する計画だという。

「TTPに立ち向かっていく時代であり、海外産枝豆には絶対負けない。」と山本組合長は熱く語ってくれた。

北海道芽室町議会視察

『議会活性化の取り組みについて』

森 太郎

壮瞥町議会では、昨年の議員改選期以後、委員会活動を積極的に進めていくことを確認し議会活性化に取り組んでいるところだが、このたび、札幌市で開催された全道議員研修会の日程に合わせ、議会改革度で全国ランキング1位の十勝管内芽室町議会の先進事例を調査してきた。視察先の芽室町は十勝総合振興局のほぼ中央に位置し、帯広市のベッドタウンとして発展している人口18950人（28.3.31現在）の町です。

産業面では、肥沃な大地と気象条件に恵まれ、



JA中札内村 山本組合長

畑作・畜産農業を基幹産業とし、特に畑作ではスイートコーン生産量が全国1位、てん菜・小豆は2位、馬鈴薯・小麦等の生産も国内上位を占めており、関連する食品加工などの製造業を中心とした第二次産業と製品輸送の運輸業などの第三次産業が連関し、発展を続けております。

芽室町議会

では平成12年の地方分権一括法の施行に合わせ、議会改革の起点となる「議会活性化計画」を策定し、毎年全議員で確認・更新すること等で改革を進めておりま



芽室町議会での視察の様子

したが、ここ数年の町長選挙や町議選の投票率が下がったことにより、町政への関心が下がっていることへの危機感を抱き、大胆な改革へと舵をきるようになっていったものです。

平成24年に「住民に開かれ、分りやすく、行動する議会」をスローガンに掲げ、「通年議会」

「議会モニター制」「議会サポーター制」「ネット中継」「議員の公開研修」「町民との意見交換会」「北大公共政策大学院との包括連携協定と共同事業」など、議会改革が急ピッチで進められました。「活性化計画」に基づき、整理された具体的な事務事業は、

- (1) 議会基本条例の制定
 - (2) 通年議会制（通年の会期制）への移行
 - (3) 議会だよりの通年発行
 - (4) 議会報告と町民の意見交換会（議会フォーラム）の開催
 - (5) 全会議のインターネット中継・録画配信
 - (6) 議会モニター制度の設置
 - (7) 議会改革諮問会議の設置
 - (8) 議員研修計画の策定と予算化
 - (9) 議会サポーターの設置
 - (10) 北海道大学公共政策大学院との包括連携政策形成サイクル導入
 - (11) 議会ICT化の取り組み
 - (12) 議会白書の作成・公表
 - (13) 議会政策形成サイクルの実施
 - (14) 新・町民との意見交換会
 - (15) 議員間討議（自由討議）の実践
 - (16) 等があります。
- 最後に広瀬重雄議長から、地方分権が進んできた中で、今後に向けての議会改革の方向性として、行政側からの政策提言だけでなく、議会側も広く町民の意見を聞きながら、それを町政に反映させ、町に政策提言する議会を目指していくことが議会の役割であるとの説明を受け、調査を終了しました。



工事発注状況

平成28年6月から
平成28年8月までの発注分
.....
()内は予定価格

- 久保内地区水道施設改善工事
16,740,000円(17,625,600円)
(有)堀口水道
- 町道滝之町下立香線舗装改修工事
1,803,600円(1,998,000円)
道路工業(株) 日胆営業所
- 町道南久保内第3線歩道柵改修工事
1,231,200円(1,263,600円)
(株)出田建設
- 町道久保内団地線水道施設整備工事
3,412,800円(3,585,600円)
(有)堀口水道
- 滝之町地区農業集落排水処理施設機械設備工事
46,656,000円(48,178,800円)
栗林・堀口経常建設共同企業体
- 星野団地排水設備整備工事
3,099,600円(3,207,600円)
(有)堀口水道
- 保健センター改修建築主体工事
7,927,200円(8,024,400円)
(株)中山工務店
- 保健センター改修電気設備工事
7,624,800円(7,624,800円)
(株)堀口電気商会
- 保健センター改修機械設備工事
3,758,400円(3,931,200円)
(有)堀口水道
- 農村環境改善センター洗面コーナー設置工事
2,980,800円(3,078,000円)
(株)中山工務店
- 蟠溪町有物件除却工事
2,408,400円(2,494,800円)
(株)出田建設

委員会レポート



7月13日と9月12日に総務常任委員会が、9月5日に経済常任委員会がそれぞれ所管事務調査を実施しました。

総務常任委員会調査報告

7月13日と9月12日に総務常任委員会が所管する課題について調査と現地視察を行いました。その概要について報告します。

29年4月中学校統合の取り組みの状況

29年4月に壮警・久保内中学校が統合しますが、統合に向けて生徒間の交流促進として、◎定期テストの合同実施(1・2年生のみ) ◎一日体験入学(2月28日) ◎部活動の合同実施(卓球・吹奏楽) について取り組んでいるほか、今後◎スクールバスの購入と運行方法の確認◎PTA組織の統合調整 ◎制服等の支給(現1・2年生) について取り組みます。

また、久保内中学校閉校式典の準備について説明を受けました。



壮警中学校視察状況

壮警中学校の改善

現地視察した受入れ校の壮警中

学校は経年による不具合として、◎地下重油タンクの老朽◎受水槽の老朽◎体育館の器具庫の雨漏り ◎理科室・調理室の水道配管の不備などがあり、早急な修繕・改善は統合に関わらず必要との意見が出された。

壮警高校の将来は

壮警高の存続や移転について過去の質疑の中で交わされてきたが、関係機関との意見交換をして今年度中に考えを示したい。(町長)。

今までの経緯から学科転換(平成26年4月)は「新しい壮警高校づくりの基本方針は、あくまでも存続に向けた方針である。生徒の応募も学科転換2～3年の推移を見極めた上」と答弁しており、次のステップとしてまさしくこれからの論議である。(教育長)

議員から特色のある高校の在り方について多くの意見が出された。

壮警高校の移転は

高校の教育環境の整備について「今まで高校の建て替えに取り組みまず、空き校舎ができたから移転とのことであるが、活用方策の検討はどの程度されたか」に対し「福祉関係事業者・病院関係に接触してきたが空き校舎の利用は使いつらい、また小学校が近接していることから難しい」と考えられる。(副町長)

高校移転の論議はまだ半ばで、未成熟の状況でもあり、今後継続して町・地域・関係者の声を聴取し、将来を見据えた方策に取り組みんでまいります。

経済常任委員会調査レポート

9月5日、本町に大きな被害をもたらした台風10号による災害被害の調査を行いました。

調査には総務常任委員会も参加し、全議員での調査となりました。

この度の台風で被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げると共に、被害調査にご協力を頂いた方々にお礼を申し上げます。

果樹被害

果樹園の調査では、落果は2割程度発生した他、今後枝ずれがどのくらいになるかは収穫してみないとわからないとのことでした。

また、倒木や枝折れ等もあり、来年以降の収穫に影響もあるとのことでした。

久保内小学校 学校林倒木

久保内小学校校庭横の学校林と、近くの農業用排水路沿いにある民有林の倒木も調査しました。

学校林の倒木は、校庭の遊具を

押しつぶしている可能性があるが、倒木を除去しなければ状況が確認できないため、担当課では倒木撤去後確認するとの説明がありました。

寺内地区菜豆畑

幸内地区の菜豆畑の調査では、生育途中の菜豆が手しば竹ごと倒伏しているのを確認し、今後収穫量の減収が危惧されます。

町道・林道被害

町道上久保内蟠溪線（蟠溪側）では、路肩崩落により道幅が10m



駒別林道崩落現場

ほどに狭くなっているのを確認しました。

また同路線（上久保内側）でも路肩崩落が発生しており現場を確認しました。

次に駒別林道に向かい、河川の増水により林道が洗掘された現場を確認しました。

最後に上久保内の圃場横を通る用排水路の被害箇所を調査しました。

この場所は、用排水路の上を通れるよう橋があるが、用排水路の

底部から水が抜けたことにより、橋周辺の土地が洗掘された部分を確認しました。

この他、被害にあったビニールハウスも車窓から確認できました。今回調査したほかにも、東湖畔林道、町道滝之町下立香線、町道山手線等が通行止となった他、町内の多くで倒木や停電被害が発生したとの報告が担当課からありました。

町側には、担当課の計画通りに復旧を進められたいと伝え被害調査を終了しました。

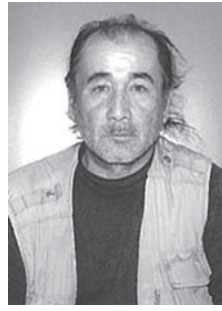


町道上久保内蟠溪線路肩崩落現場

薫風

「偉大な親友の死を悼んで」

東湖畔 高橋秀幸



1年が過ぎ去るのは早く紅葉を迎える季節となりましたが、私の心の中に忘れられない昨年11月20日の夜、親友小畑敏満君（横綱北の湖）の悲報が飛び込んできたことです。

早いもので去る10月2日川崎市の川崎大師平間寺で一周忌法要が執り行われ、400名を越す参列者の中の1人として、仏前に参り、彼の偉大さを改めて再認識しました。

●自然豊かな中で

小学校入学から中学1年生の12月まで、有珠山・昭和
新山・洞爺湖・長流川の自然豊かな中で、同じ教室で机を並べ共に学び・遊んだこと…。

クラスの中でも飛び抜けて体格も大きく、いつも教室の後ろに、運動神経抜群で各種スポーツにぬきんでて、野球では打てばホームラン、サッカーや柔道などに親しみ、スポーツマンでしたね。

祭りの相撲では同級生との対戦ではなく常に上級生・大人との取り組みで優勝していたことなどが走馬灯のごとく想い出され、幼き時代の姿が脳裏を駆け巡ります。

●いつもふるさと壮瞥に

ふるさと壮瞥に帰郷の時はクラスメイトが集い、酒を酌み交わし、幼きときのことを思い出し、横綱になって、また相撲協会の重鎮になっても、故郷やクラスメイトを忘れることなく「トンコ」・「おい秀」と昔の呼び名で言葉を交わしましたね。

●偉大な親友を誇りに

私にとって偉大な親友小畑敏満君、そして偉大な横綱北の湖、また相撲協会理事長北の湖として活躍された親友を持たれたことを誇りに思います。

この1年は、葬儀、協会葬に参列させていただき、また4月17日の偲ぶ会で、お別れの言葉を述べさせていただいたこと、さらには一周忌に参列等、偉大な旧友を生涯にわたり持てたことを誇りとして日々生活していきたいと考えています。

最後に、明年の法要までに彼の勇姿の銅像が同寺の境内に建立されること、心待ちにしています。



北の湖親方を偲ぶ会

編集後記

今、全国的に話題になっている東京都の豊洲市場の問題で、石原元都知事時代に計画実施されたが、都議会も市場建物地下に巨大空間があるのを知らなかったようで、都を攻めています。

工事は大規模で、時間も費用も相当かかったと思われるが、工事期間中に誰も見に行かなかったのでしょうか？ 正式な工事設計書も見えていなかったのでしょうか？ 多額な都民の税金が使われていたのに…。

また、東京オリンピックに關しても当初予算の約5倍もの経費が必要だそうですね。どうなっているのでしょうか？

我が町でこのようなことがないように心するばかりです。

(M・M)